

高円宮杯 JFA 第 38 回全日本 U-15 サッカー選手権大会 神奈川県大会 実施要項

1. 主旨

一般社団法人神奈川県サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担うユース（15 歳以下）の少年達のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、第 3 種年代の加盟チーム全てが参加できる大会として、本大会を実施する。

2. 名称

高円宮杯 JFA 第 38 回全日本 U-15 サッカー選手権大会 神奈川県大会

3. 主催

一般社団法人神奈川県サッカー協会

4. 主管

一般社団法人神奈川県サッカー協会第 3 種大会部会

5. 日程

開催日 2026 年 5 月 16 日（土）～10 月 17 日（土）

6. 会場

県内各グラウンド

7. 参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会第 3 種または女子に加盟登録したチームであること（準加盟チームを含む）。
- (2) 本大会に出場する選手は、都道府県大会を通して、他のチームで出場していないこと（U-15 リーグは除く）。
- (3) 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、公益財団法人日本サッカー協会の女子加盟チーム登録選手を、移籍手続を行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
- (4) 第 1 項のチームに令和 8 年 5 月 31 日までに登録された選手であること。ただし、一家転住等の理由により、上記期限以降に移籍または追加登録した選手が大会参加を希望する場合、神奈川県サッカー協会第 3 種大会部会および当該地域担当の全日本ユース（U-15）実施委員が別途了承した場合に限り、大会参加を認める。
- (5) 公益財団法人日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては一クラブ内のチーム間であれば移籍手続を行うことなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第 4 種年代のみとし、第 3 種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- (6) 登録を済ませた選手のうち、現登録チームで本大会の予選にメンバー入り（サブも含む）しなければ、令和 8 年 8 月 31 日までに他チームへ移籍し登録することができる。ただし、一家転住の場合は、現行通り、前所属チームで予選に出場した場合も転住先の新しいチームで出場することができる。

(7) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認める。尚、11 名以上の選手を有するチーム同士の合同チームに関しては、全国中学校体育大会複数合同チーム参加規定に則る。

- a. 合同するチームおよびその選手は、それぞれ (1) および (2) を満たしていること。
- b. 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
- c. 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
- d. 合同チームとしての参加を神奈川県サッカー協会第 3 種大会部会長が別途了承すること。
- e. リーグ戦で同一チーム内の 2 チームが関東 1 部と 2 部や関東 2 部と都県リーグなどの異なるリーグで参加は認めているが、高円宮杯でのエントリーは 1 チームとする。
- f. リーグ戦に出場しているセカンドチームは、チームとして高円宮杯予選には参加できないが、選手としてファーストチームの登録には入ることができる。

8. 参加チームとその数

2026 年度は関東大会に出場枠が (3) あり、そのうち県リーグ 1 部上位 1 チーム (1 巡目が終了した時点) に関東大会への出場権を与えるため、下記の通り県リーグ 1 部 2 位以下の 60 チームとする。関東大会に出場できる都県枠は、その年の全国大会に出場できる関東枠によって変動する。

県リーグ

・ 1 部 (9) ・ 2 部 (18) ・ 3 部 (24) ・ 4 部 (6) ・ 中学生リーグ (3) 合計 60 チーム

9. 大会形式

60 チーム (30 チームずつ 2 ブロックに分け) によるトーナメント方式にて関東大会出場チーム (各ブロック 1 位) を決定する。

10. 競技規則

公益財団法人日本サッカー協会「2025/26 サッカー競技規則」による。

11. 競技規定

(1) ボール

試合球はアディダスコネクト 26 コンペティションとする。

(2) 競技者の数および交代回数

- ① 競技者の数：11 名
- ② 交代要員の数：14 名以内
- ③ 交代を行うことができる数：7 名以内
- ④ 交代回数は、各チーム最大 3 回とする (1 回に複数人を交代することは可能)。ただし、ハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
- ⑤ 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
 - a. 脳振盪またはその疑いのある選手の交代 (以下「脳振盪交代」という) は、通常交代に含まれない。
 - b. 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続き (大会事務局から配布される脳震盪用交代カードを使用する) で行われなければならない。
 - c. 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。
 - d. 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1 名 1 回の交代を追加で得ることができる (以下、本号に基づく交代を「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った

場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。

e. 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。

f. なお、脳震盪および脳震盪の疑いにより交代した選手は、ドクターまたはトレーナーの診断を受け、必要な医療処置を行い、安静にするものとする。

(3) 役員の数

ベンチ入りできる役員の数：6名以内

(4) テクニカルエリア

戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人が伝えることができる。

(5) 競技者の用具

① ユニフォーム

- a. 公益財団法人日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- b. Jクラブアカデミーのチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。Jリーグユニフォーム要項で認められたユニフォームで黒に近い色を着用する場合は、当該試合の対戦チームと明確に判別し得る色の審判カラーシャツ4人分(半袖及び長袖)を当該チームが持参しなければならない。
- c. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込に登録し、各試合に必ず携行すること。(FP・GK用共)公益財団法人日本サッカー協会に登録されたものを原則とする。
- d. 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- e. 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- f. シャツの前面・背面に参加申込にて登録した選手番号を付けること。
- g. ユニフォームへの広告表示については公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- h. ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものでなければならない。

② キャプテンアームバンド

公益財団法人日本サッカー協会によって用意または認められたアームバンドのみ着用が認められ、公益財団法人日本サッカー協会によって認められたアームバンドを着用する場合は公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規定に準拠すること。

(6) 試合時間

- ① 試合時間は70分(前後半各35分)とする。※ブロック決勝は80分(前後半各40分)とする。ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)：原則10分間
- ② 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)
PK方式により勝敗を決定する。※延長戦は行わない
- ③ アディショナルタイムの表示：行う
- ④ 荒天で試合が中断した場合、その試合が後半25分(ブロック決勝は後半30分)を経過し中断となり再開不可能となった場合は、その時点での結果を持って試合は成立したものとみなす(同点の場合は抽選とする)。それ以前に中断し再開不可能な場合は改めて残り時間について試合を行うものとするが、諸事情で残り時間の試合が不可能な場合は抽選で決定する。なお、残り時間の試合を行う場合のメンバーは、中断時の選手とする。

※抽選は次の手順により実施する。

予備抽選および本抽選の順に行う。

予備抽選は、本部からグラウンドに向かって左側ベンチのチームから先に引く。

(7) その他

第4の審判員の任命：行う

負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

本大会は「キャプテンオンリー」のガイドラインを実施する。

12. 暑熱（熱中症予防）対策

<試合前>

- (1) 試合開始前に必ず WBGT 値を測定し、測定出来ない場合は試合を行わない。また気温 35℃以上、WBGT31℃以上の場合も試合は行わない。
- (2) 試合中に WBGT31℃以上の状況が予測される場合は、別紙の STEP1,2,3 を講じる。対策ができない場合は試合を行わない。また WBGT31℃未満の場合別紙の STEP1,2 を講じる。対策ができない場合は試合を行わない。※現地に参集している事を理由に、WBGT31℃以上の中で無理矢理実施することのないようする。

<試合中>

- (3) 試合中に WBGT が 31℃を超えた場合は原則中止、中断又は延期する。
※ただし、別紙の STEP1+2+3+クーリングブレイクを全て実施した場合に限り、主催者判断で試合を実施することができる。また WBGT31℃未満の場合は JFA の熱中症対策の別紙の STEP1,2 を講じる。対策ができない場合はその試合を中止とし、改めて日程調整の上、試合を行うこと。
対策 STEP 1, 2, 3 に関しては別紙資料を確認すること。(熱中症対策ガイドライン 2024/5/21 改正)

※試合を行わず中止とする場合は、抽選にて次へ進むチームを決定する。

抽選は次の手順により実施する。

予備抽選および本抽選の順に行う。

予備抽選は、本部からグラウンドに向かって左側ベンチのチームから先に引く。

13. 落雷事故防止対策

- (1) 危険な兆候が確認されたら公式戦・練習にかかわらず躊躇なく中止すること。
 - (2) 周辺で雷注意報・兆候がある場合、専門的なウェブサイトで常時天候情報を確認すること。
- ※JFA 落雷防止ガイドラインを遵守すること。

14. 選手登録

試合毎の選手登録は所定のチーム登録用紙に最大 25 名の選手を記載し、試合開始 30 分前迄に、先発選手 11 名には背番号に“○”を付け、交代選手には交代の欄に“△”を記入し、2 部（ベスト 16 以降は 3 部、放送を行なう会場では 4 部）を本部に提出する。所定のチーム登録用紙で試合毎に登録できる人数は、スタッフ 6 名以内、選手 25 名以内とする。スタッフは原則として 18 歳以上(高校生を除く)とする。当日、ベンチ入りするスタッフには、ベンチの欄に“✓”を記入すること。※背番号は試合毎の登録とする。

15. 懲罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。

- (2) 本大会における懲罰問題に関して、本協会規律・フェアプレー委員会が直接管轄する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手等は、次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本協会規律・フェアプレー委員会において決定する。
- (1) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、本協会規律・フェアプレー委員会にて決定する。

16. 審判

- (2) 審判は有資格の高校生以上とし、中学生の審判は有資格者であっても本大会で審判活動はできない。
- (3) 審判について、1回戦からブロック決勝戦（代表決定）まで主審を協会派遣とし、副審は4回戦まで有資格者の帯同審判員にて実施する。ブロック決勝戦（代表決定）は、主審・副審とも協会派遣で行なう。
- (4) 帯同審判員は、該当試合前に写真付審判証を本部に提示すること。
- (5) 審判員は、試合開始前に必ず審判打合せを行い、審判用具(カード類)の確認も行うこと。

17. 本部

本部担当は、18歳以上の審判資格有資格者とする(高校生不可)。なお、本部担当者は第4の審判も兼ねるものとする。

18. 大会参加申込

- (1) 1チームあたり選手最大25名、スタッフ6名（トレーナー含む）とする。
- (2) 参加申込の手続きは、神奈川県第3種大会部会事務局よりメールで展開される所定の申込フォームに必要事項を入力し送信すること。

19. 監督会議

期日：2026年7月5日（日）19:00 開始

会場：リモート会議（Zoom）及び抽選会 ※ID/パスワード配信済み

20. 参加料

1チーム20,200円とし、2026年7月30日（木）までに下記口座へ振込とする。

『三菱UFJ銀行 湘南台支店 普通 0510605 事業口 社団法人神奈川県サッカー協会』

※振込手数料は各チームで負担してください。

※必ずチーム名で振込んでください。

21. 選手証

各チームの登録選手は、原則として公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、公益社団法人日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。なお、本大会では電子選手証（写真を貼付したもの）・登録選手一覧をコピーし提示した場合、出場を認める。

22. 傷害保険

チームの責任において、参加する選手・スタッフは傷害保険に加入すること。

23. その他

- (1) 日程調整について、原則として学校行事(運動会等)以外は、調整を行わない。運動会等の予備日について

ては考慮できない。また、会場提供の状況から調整が不可能な場合も考慮できない。

- (2) 記録をより正確なものにするため、ショーツに縦 10cm 程度の番号（背番号・胸番号と同一のもの）をつけることが望ましい。
- (3) 大会規定に違反、またはその他不都合があった時は、そのチームの出場を停止する。
- (4) チーム登録用紙のポジションについては、必ず GK, DF, MF, FW と記入すること。
- (5) 当日登録したベンチ内の選手及びスタッフは、原則として試合中の選手と違う色のビブスを必ず着用し、プレー中の選手と判別をしやすいこと。
- (6) 本大会は公益財団法人日本サッカー協会規約規程「第 12 章 懲罰」に則り、大会規律委員会を設け、委員長は神奈川県第 3 種大会部会長が兼任し、委員については 3 種大会部会長が決定する。[基本規定 第 227 条]
- (7) ブロック決勝の 70 分前にマッチコーディネーションミーティングを開催する。その際、メンバー表の提出（4 部）、両チームのユニフォームの決定、諸注意事項等の説明を行う。
- (8) 交代カードは各チームで準備する。（県内で使用しているもの）
- (9) 出場チームは会場における「競技場確認事項」を遵守し、サッカー関係者としてのマナーを十分心がけ会場担当者の指示に従って行動すること。
- (10) 試合開始時刻に遅れないようにし、審判による用具チェック時(予定時刻 7 分前)に整列できないチームは不戦敗とする。
- (11) 大会要項に規定されていない事項については、本協会において協議の上決定する。

以上

《問い合わせ先》

一般社団法人神奈川県サッカー協会第 3 種大会部会

高円宮杯 JFA 第 38 回全日本 U-15 サッカー選手権大会 神奈川県大会 事務局

携帯：070-5453-6084（伊藤）

mail：3c.jimukyoku@gmail.com